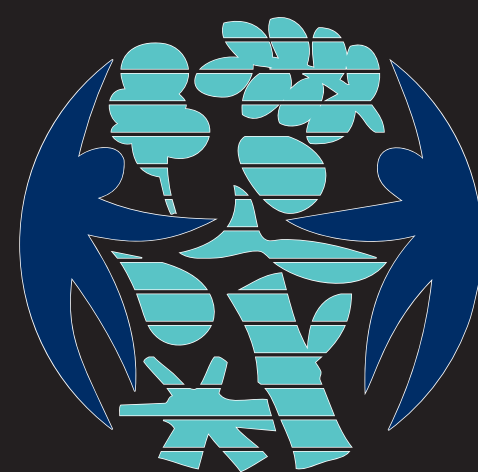


WEBサイトの構築

てんぽく活性化協議会・トレーサビリティ検討部会

Construction of web site - Tenpoku activation conference / Traceability Working Group-



デザイン班／サイトデザイン・アートワーク・広報担当

高橋麻衣子
Takahashi Maiko

中森俊幸
Nakamori Toshiyuki

角田直哉
Kakuda Naoya

宮北洋輔
Miyakita Yousuke

武田歩
Takeda Ayumi

テーマ・テンプレートとは

Xoopsにおけるサイトの大まかなデザインは『テーマ』により制御する。テーマはHTMLとCSSで記述され、すべてのモジュールに適用される。テーマはあくまで背景色や文字の色、大きさなどを指定することしかできない。モジュールごとのより具体的なレイアウトはモジュールごとに『テンプレート』を指定する。こちらでもテーマ同様HTMLとCSSでの記述となる。

てんぽく活性化協議会webサイト

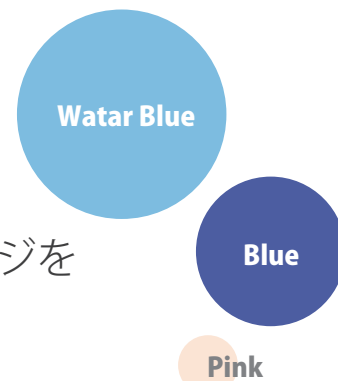


コンセプト 信頼感／安心感

食品の情報を発信する際に重要となってくるのは、情報の信頼性である。情報がどんなに有益なものであっても、肝心の発信源が特定できなければ閲覧者は信用してくれない。同様に、デザイン面においてもしっかりとした作りになっていなければ、情報を見た閲覧者は不安を感じてしまう。従って、昨年度のプロジェクトから課題であったデザインについては、「信頼感／安心感」をキーワードにデザイン面の強化を図った。

テーマカラーは「青」

本年度作成したテーマは水産をイメージしているため、全体的に「青」を使用した。単なる塗りつぶしではなく、グラデーションや斜線を用いることでしっかりとしたイメージを持たせている。右はサイトに使用したメインとなる色と使用量を示したものである。



webサイトの今後

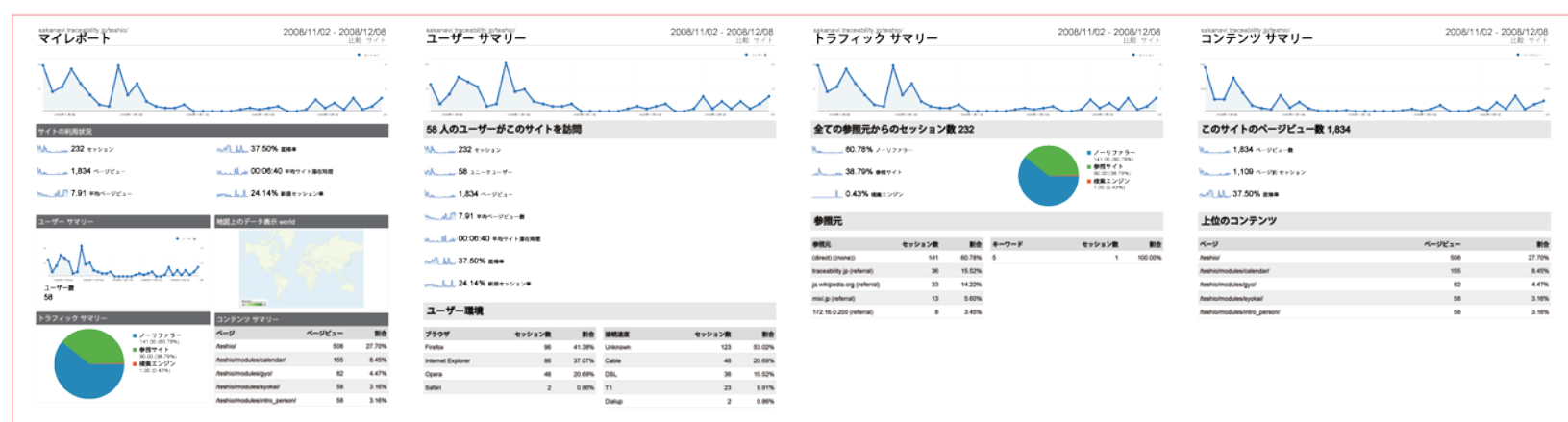
本プロジェクトが行うのはモジュールの用意とテーマの準備のみである。それぞれのモジュールの中身はweb上で情報を追加したり削除することができ、追加した情報には自動的にデザインが対応されていく。生産者が自ら情報を追加し続けることで、webサイトはより充実したものとなっていく。

展開

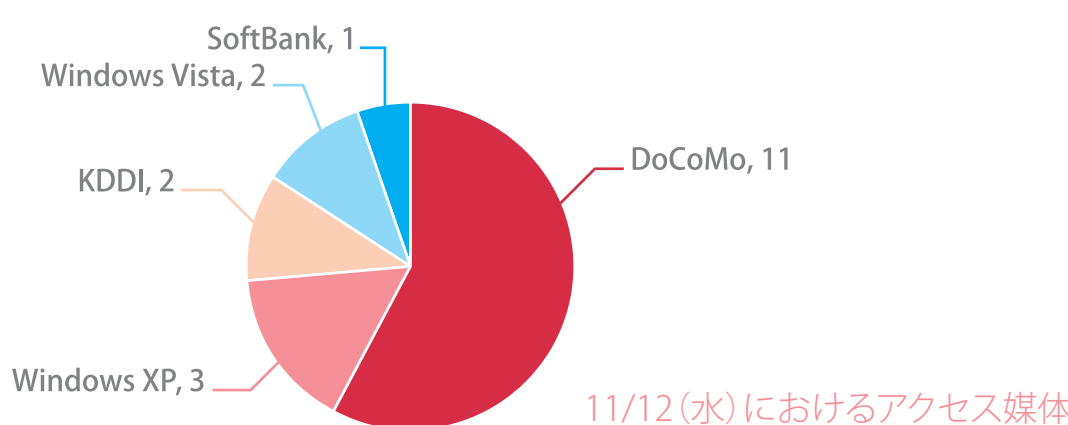
トレーサビリティ実証実験「きたキッチン」

2008年11月3・4日に丸井今井「きたキッチン」にてJF北のもい漁業協同組合天塩支部が製造販売する「砂だししじみ貝」にトレーサビリティ用QRコードを貼り、実際にどの程度利用されるのか検証した。

今後は、コープさっぽろやダイエーでの実証実験を予定している。



トレーサビリティと連動させたwebサイトのアクセス解析



日刊水産経済新聞

2008年11月3・4日に行った丸井今井「きたキッチン」での実証実験が一面に取り上げられた。

QRコードを読み取る形式のトレーサビリティシステムにより、商品の付加価値向上につながることを実証した。



ジャパン・インターナショナル・シーフードショー大阪

2009年2月4・5日に大阪のATCホール（アジア太平洋トレードセンター内）にて開催される「ジャパン・インターナショナル・シーフードショー大阪」に本プロジェクトで制作した情報システムを出展する。

ここでは主にQRコードによるトレーサビリティシステムとwebサイトを連動させる有効性を紹介する予定である。

